

音訓さくいで引こう

🔍 たしかめ --- 🗣️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

🚩 きょうの
めあて

音訓さくいんを使って、読み方から漢字をさがそう

🔍 まず、たしかめよう

- 音訓さくいんでは、読み方が**五十音順**にならんでいる。
- 音読みはカタカナ、訓読みはひらがなで書かれていることが多い。
- 一つの読み方に、いくつもの漢字がならんでいる。 れい：カン 官・完・関・館...

🗣️ いっしょにやってみよう

れい 「はぶく」と読む漢字をさがそう。

① 「は」の所を開く。

② 「はぶく」の
行を見る。

③ 答え **省** (省く)

✎ やってみよう

♡ できたところまででOK

① 音訓さくいんで、先に出てくる読み方は？

☐ あい

☐ あさ

② 次の「音訓さくいん」の一部を見て答えよう。

(さくいんの一部)

キョウ 共・協・鏡・競 ...

ギョ 漁 ...

(1) この中で「キョウ」と読む漢字はいくつ？

(2) この中で「ギョ」と読む漢字は？

③ 音訓さくいんで「なわ」を引いた。出てくる漢字を書こう。

(おきなわの「なわ」)

答え 1. あい 2. (1) 4つ (2) 漁 3. 縄

お礼の手紙を書こう

🔍 たしかめ --- 🗨️ いっしょに --- ✎️ やってみよう (3もん)

📌 きょうの
めあて

相手にしてもらったことと、自分の
気持ちが伝わるお礼の手紙を書こう

🔍 お礼の手紙のれい（架空の手紙）

川口さんへ

先日は、時計台の古い写真のことを教えてくださり、ありがとうございました。

「正午に鐘^{かね}が鳴った」というお話を聞いて、昔の町の様子が目にうかびました。

これからも、町の歴史^{れきし}を調べていきたいです。

十月二十日 ナギ

🗨️ いっしょにやってみよう

れい お礼の手紙に書くことは？

① してもらったこと。

② それでどう思ったか、
どうなったか。

③ これからのこと・
結びのあいさつ

✎️ やってみよう

♥️ できたところまでで OK

① この手紙で、「してもらったこと」は？

☐ 時計台の古い写真のことを教えてもらった

☐ 時計台に連れていってもらった

② お礼の気持ちがよく伝わるのは？

☐ お話を聞いて、昔の町の様子が目にうかびました。

☐ ありがとう。

③ だれか（本の登場人物や、架空^{かくう}の人でもよい）に、お礼の手紙の一文目を書こう。

答え

1. 時計台の古い写真のことを教えてもらった 2. お話を聞いて、昔の町の様子が目にうかびました。

3. 例：先日は、道をていねいに教えてくださり、ありがとうございました。

分け方を変えて整理しよう

たしかめ いっしょに やってみよう (3もん)

きょうの
めあて

同じ言葉でも、分け方（^{かんてん}観点）を変えると、
ちがうまとまりになることに気づこう

分ける言葉

言葉 トマト りんご きゅうり バナナ ピーマン いちご

いっしょにやってみよう

れい 「色」で分けると？

① 赤：トマト・
りんご・いちご

② 緑：きゅうり・
ピーマン

③ 黄：バナナ

やってみよう

♡ できたところまでで OK

💡 「野菜」「果物」の分け方は、本や場面によってちがうことがある。ここでは、ふだんの
言い方で分ける。

① 「野菜」と「果物」に分けよう。

野菜	果物

② 「色」と「野菜か果物か」、どちらで分けても同じなかまになる二つは？

☐ きゅうりとピーマン

☐ トマトとりんご

③ ほかの分け方（^{かんてん}観点）を一つ考えて書こう。

答え

1. 野菜：トマト・きゅうり・ピーマン 果物：りんご・バナナ・いちご 2. きゅうりとピーマン
3. 例：皮をむいて食べるか、むかないで食べるか

漢字（県の名前⑥）

たしかめ いっしょに やってみよう（3もん）

きょうの
めあて

県の名前に使う漢字「熊・鹿・沖・縄」を読んで書こう

きょうの漢字

熊 訓 くま
くまもとけん くま
熊本県・熊

鹿 訓 しか・か
しか かごしまけん
鹿児島県

沖 訓 おき
おきなわけん おき
沖縄県・沖

縄 訓 なわ
なわ おきなわけん
縄とび・沖縄県
左は「糸」へん

いっしょにやってみよう

れい 「なわとび」の「なわ」はどの漢字？

① ひもを より合わせた
ものの いみ。

② だから「糸」
へんがつく。

③ 答え 縄

やってみよう

できたところまでで OK

① 線の漢字の読みがなを書こう。

(1) 熊本の城。

(2) おすの鹿の角は、毎年生えかわる。

(3) 船が沖に出る。

(4) 縄とびをする。

② □に漢字を書こう。

(1) □ 本県

(2) □ 児島県

(3) □ □ 県の海。

(4) 長い □。

③ 「鹿」の正しい読みに○をつけよう。

(1) 鹿のむれ (しか) (か)

(2) 鹿児島県 (しか) (か)

答え

1. (1) くま (2) しか (3) おき (4) なわ 2. (1) 熊 (2) 鹿 (3) 沖縄 (4) 縄 3. (1) しか (2) か

場面に合うことわざ

🔍 たしかめ --- 🗣️ いっしょに --- ✎ やってみよう (3もん)

📅 きょうの
めあて

場面をよく読んで、合うことわざを選ぼう

🔍 まず、たしかめよう

- 百聞は一見にしかず...何度も聞くより、一度見るほうがよく分かる
- 良薬は口に苦し...ためになる注意は、聞くのがつらい
- 案ずるより産むがやすし...心配していたより、やってみると かんたん

🗣️ いっしょにやってみよう

れい 写真ではなく、実物の星空を見て、よく分かった。

① 写真や人の話より、
自分の目で見た。

② そのほうが
よく分かった。

③ 答え 百聞は
一見にしかず

✎ やってみよう

♡ できたところまでで OK

① 「案ずるより産むがやすし」が合うのは？

☐ 心配していたはじめての料理が、やってみたら うまくできた。

☐ じゅんぴをしないで、料理に失敗した。

② 「良薬は口に苦し」が合うのは？

☐ きびしい注意を聞いて直したら、よくなった。

☐ にがい薬を飲んで、顔をしかめた。

③ 三つのことわざから一つ選び、合う場面を書こう。

答え

1. 心配していたはじめての料理が、やってみたら うまくできた。
2. きびしい注意を聞いて直したら、よくなった。
3. 例：百聞は一見にしかず...図かんで見えた魚を、水族館で見てよく分かった。